

奥多摩：三頭山—笹尾根

- ◆日程 2017年7月17日(月)
- ◆メンバー L：佐藤 s、前田、池本、津澤
- ◆天候 曇り

奥多摩駅からバスの増便が出ていたので予定より早く出発できたと思ったら、楽しみにしていたドラム缶橋が通行止めで渡ることが出来ず、先の橋まで30分くらい歩くことになってしまいました。当日はとにかく蒸し暑く、やっと到着した登山口からいきなりの急坂が続き、全くと言っていいほど風もなく、もう暑さMAXでした。「暑い暑い」と口にする私をよそに、他の3人は黙々と歩いており、こんな静かな山歩きもあるのだなと思いました。

山頂近くでようやく風が吹き始め、みんなの顔に笑顔も戻って、最後の坂を登りきると山頂に到着しました。それほど眺望もなく、富士山も全く見えず残念でしたが、この日は富士山より何より暑さが和らいだ事で元気がでました。下山は予定どおり笹尾根経由で笛吹峠へ下りましたが、笛吹峠の少し先辺りで今日一番の絶景が広がっていました。笛吹峠まで下るか、もっと手前の道から下山してしまうか悩んだ後だったので、この景色を見て良かったと思いながら下りました。リーダーの佐藤さん、お疲れ様でした。(池本)

初めて参加させていただきました。楽しみにしていたドラム缶橋が水位低下のため渡れず、遠回りをしなければならないハプニングから始まりました。登山開始すぐに急坂が続き、運動不足の私にはつらい登山でした。最初から最後までただひたすら暑くて大変で、途中で下りるかどうか悩み、時には下りたいなあ…とも思いましたが、気持ちの良い尾根歩きやきれいな景色が



あり、来て良かったなと思いました。立川駅でのビールも最高でした。これからもどうぞよろしくお願いたします
(津澤)

麦山浮橋が、まさかの水位低下で通行止め。ハプニングスタートに加え、夏の強い日差しと高い気温に何度も何度も心の中で弱音を吐き、わずかな山の風を体を感じながらも冷却には及ばず、励ますつもりが励まされ、汗で溺れるかと思う程の全身汗まみれでの登頂となりました。その後は、時折見られる山々の景色に癒されながら、やはり暑すぎる稜線歩きを汗まみれで楽しみました。今回の山行で、暑さに対しての精神力が格段にレベルアップしたように思えます。そして、立川駅途中下車での生ビールは最高のご褒美となり、終わってみれば良き山行の思い出となりました。
(前田)

新入会の津澤さん、池本さん、前田さんの4名で奥多摩駅集合、三頭山に登るまでが暑かった、でも山頂を超えたら楽しくなった、尾根が歩きやすく、余計なアップダウンも少なく、ハイペースで尾根を行くことが出来た、笛吹峠を越えるとトラバース道になり視界が開けた、草原の尾根でずっと先まで見渡せる、かすかな風が心地よい道でした。
(佐藤)

CT：奥多摩駅 8:20—ドラム缶橋 9:00—迂回—ムロクボ尾根入り口 9:40
—ヌカザス山 11:30—三頭山 12:50—榎寄山 15:00—笛吹峠 15:50
— 笛吹バス停 17:00

以上